

中国四国地方の自然・文化・産業遺産と応用地質

日本応用地質学会中国四国支部



世界遺産・石見銀山



仙ノ山の山稜部に近い本間歩

出雲の名石・来待石の風化



新第三紀中新世大森層の中粒凝灰質砂岩層からなる来待石の狛犬（松江市政吉神社）

奥出雲の鉄穴流しによる土砂流出



たたら施設

崩れゆく大山



大山（溝口ICから）



砂防ダム群

日本最大のカルスト台地・秋吉台

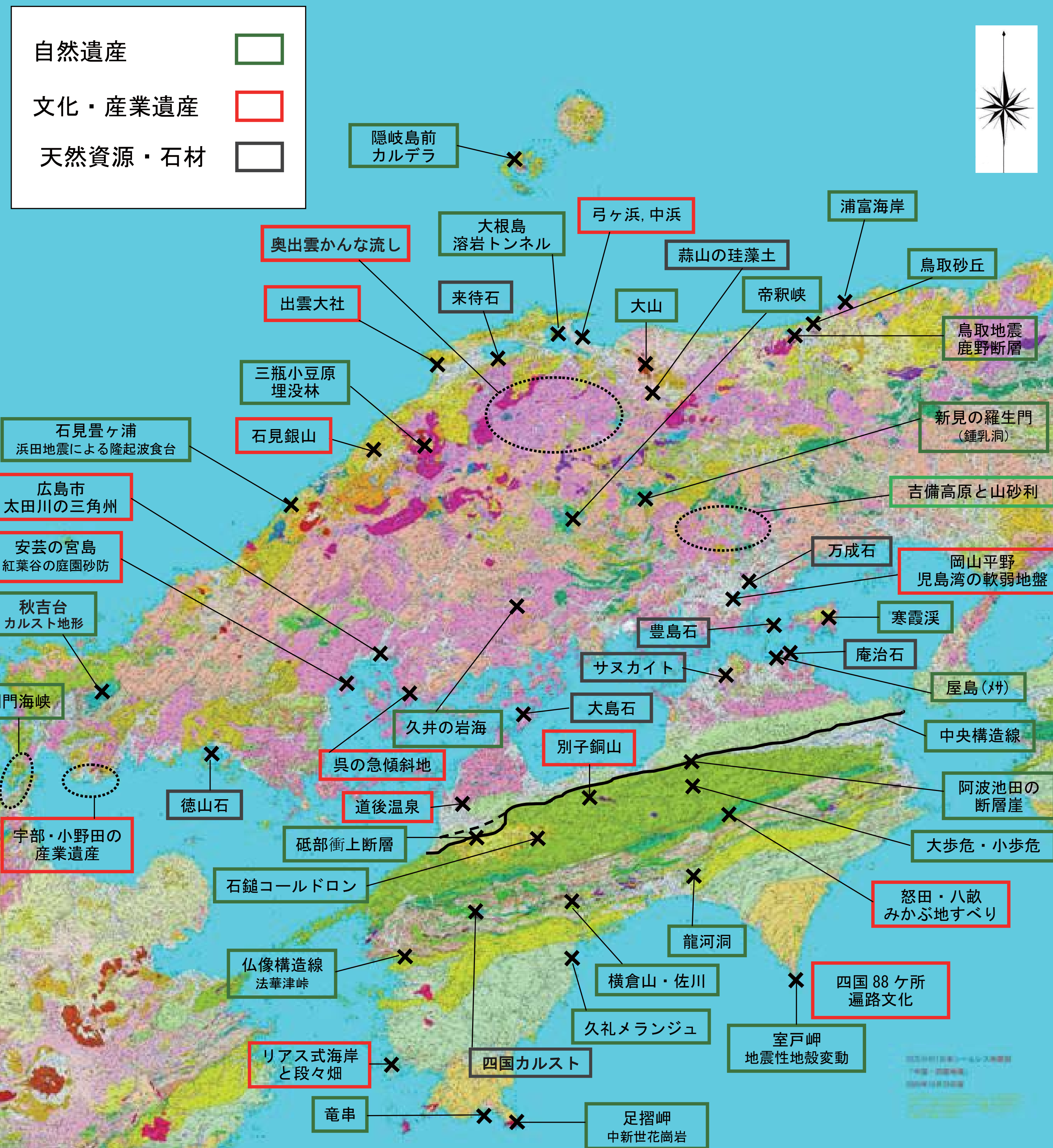


秋芳洞の百枚皿



秋吉台の石灰岩鉱山

中国四国地方は北から南に向かって、①山陰地方の第三紀のグリーンタフと大山等の第四紀火山、②中国山地の中古生層と白亜紀・古第三紀の花崗岩地帯、③瀬戸内の花崗岩地帯、④四国山地の片岩地帯および⑤太平洋沿岸の中生代から第三紀の付加体が帯状に分布し、それぞれの地質特有の自然景観をかもしだしています。また、瀬戸内は有史前からの石の名産地として生活と文化を支え、さらに石見銀山、別子銅山、宇部石炭、石灰岩等の地質資源の採掘によって産業の発展に貢献してきました。応用地質学会中国四国支部は、中国四国地方の自然・文化・産業遺産の応用地質学的価値を調査・研究し、発信します。



世界遺産・厳島神社と宮島



厳島神社と平成17年の土石流（広島県砂防課提供）



技術と芸術が融合した紅葉谷の庭園砂防

讃岐の石と芸術



彫刻家イサム・ノグチが愛した庵治石（白亜紀後期の黒雲母花崗岩）



世界を魅了したサヌカイト楽器（中新世古銅輝石安山岩）

右横ずれ活断層・中央構造線



池田町市街地を分断する池田断層

近代化産業遺産・別子銅山



第四通洞

（平成20年10月）

四国山地を横断する吉野川



国道と鉄道が通る大歩危峡

四国山地で生活の場を提供する地すべり



怒田八畝の地すべり地形と柵田

南海地震と室戸岬



空海が修行したとされる隆起海食洞